

シリーズ「糖尿病を放っていると…」

（その2）「糖尿病の人ってどのくらいいるの？」

（1）糖尿病の人ってどのくらいいるの？

- 糖尿病の疑いが強い人は、約 890 万人
 - 糖尿病の可能性を否定できない人は、約 1320 万人
- 合わせて全国に 2210 万人もいると推定されています。

しかも、糖尿病が疑われる人の約4割は、ほとんど治療を受けたことはありません。糖尿病ははじめのうち、痛みなどの自覚症状がありません。それで、健診で血糖値が高いと指摘されても、治療を受けない人が多いと考えられます。

（2）糖尿病にはいくつか種類がある

● 1型糖尿病

すい臓にあるインスリンを作る細胞が破壊されて、からだの中のインスリンの量が足りなくなって起こります。子どものうちに始まることが多く、以前は「小児糖尿病」「インスリン依存型糖尿病」などとよばれていました。

● 2型糖尿病

インスリンの出る量が少なくなって起こるものと、肝臓や筋肉などの細胞がインスリンの作用をあまり感じなくなる（インスリンのはたらきが悪い）ためにブドウ糖がうまく取り入れられなくなって起こるものがあります。

食事や運動などの生活習慣が関係している場合が多く、わが国の糖尿病の95%以上はこのタイプです。